

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	中央図書館	事業No.	310
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			教育振興基本計画	
				飯田市立図書館サービス計画	
	法令・例規等			図書館法	
			飯田市立図書館条例		
			公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示)		
事業目的	対象	市民			
	意図	市民が求めるあらゆる資料や情報を提供することで、生涯学習と課題解決を支援します。			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
		・幅広くニーズに対応できるように入門書や専門書等選択して購入しました。また、若年層ニーズ把握のため、中学生と一緒に図書購入を行いました。 ・郷土資料は重点的に収集・受入し、分館では地元資料充実に向けて購入やコーナー設置を進めました。 ・利用の多い高齢者のニーズに応えるための蔵書収集や、文字が読みにくい方へ録音図書の利用をPRしました。 ・社会・地域の動きを意識した図書展示を行いました。 ・レファレンス(調査相談)に速やかに対応できるよう、事例の蓄積を進めました。	図書購入費(消耗品費)					31,752		
		図書購入費(備品購入費)					515			
		コンピュータシステム保守点検業務委託料					1,980			
		コンピュータシステム機器使用料					3,998			
		その他の経費					0			
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	購入冊数	冊	21,000	22,397	21,000	22,019	21,000	21,819		
	貸出利用者数	人	206,000	199,036	202,000	209,034	199,000	200,825		
	レファレンス件数	件	3,500	3,157	3,500	3,566	3,300	2,964		
	社会・経済・産業部門の蔵書冊数(中央)	冊	48,000	48,143	48,000	49,224	48,000	50,453		
1年度決算(千円)	予算額		38,262		特定財源内訳及び補正事項					
	決算額		38,245		(そ) 図書館寄附金 100千円					
	財源の状況	国庫支出金	0		(そ) コンピューターシステム運営事業負担金 429千円					
		県支出金	0							
		地方債	0							
		その他	529							
一般財源		37,716								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	10	2	32,283	32,267	図書購入費
2	1	10	5	5	10	3	5,979	5,978	コンピュータシステム運営事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズがますます多様化してきており、それに対応できるように図書・情報を揃えることが必要です。</li> <li>・市民の方が求める図書・情報を的確に得るための情報探索支援が必要です。</li> <li>・市民誰もが図書・情報を得られるように、図書整備と利用のPRが必要です。</li> </ul>							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内各図書館で役割分担して、ニーズに対応した図書を購入します。</li> <li>・利用者へ書棚の案内等声かけに気を配るほか、レファレンス(調査相談)サービスを充実させます。</li> <li>・市内のどこに居住していても図書・情報を得られる分館の利用PRや読むことが不自由な人のための図書提供を進めます。</li> </ul>							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央・上郷図書館で一般図書・児童図書の分担保存の取組を進め、ニーズに対応した図書を幅広く揃えます。</li> <li>・類似レファレンスには速やかに対応できるように、国立国会図書館レファレンス協同データベース等の活用を進めます。</li> <li>・16分館の蔵書整備と利用PR、読むことが不自由な人へ録音図書や大活字本の利用PRをさらに進めます。</li> </ul>							